

# 令和4年度 第1回成田市男女共同参画計画推進懇話会 会議概要

## 1. 開催日時

令和4年5月16日(月) 13:30～14:50

## 2. 開催場所

成田市花崎町760番地  
成田市役所議会棟3階 執行部控室

## 3. 出席者

(委員) 實川会長、古山委員、小川委員、村島委員、加瀬委員、石井委員  
大貫委員、内田委員、谷 委員、綿貫委員  
小竹委員、谷崎委員、小川委員、廣田委員、仲嶋委員  
(成田市) 小泉市長  
(事務局) 谷平部長、内田課長、菅澤主幹、竹内主任主事  
※欠席者 甲斐委員

## 4. 議事

(1) 会長・副会長の選出について

## 5. 報告事項

(1) 第4次成田市男女共同参画計画について  
(2) 男女共同参画推進事業について

## 6. その他

次回会議日程について

## 7. 質疑等

主な質問・意見は以下のとおり

### (1) 第4次成田市男女共同参画計画について

小川委員：(P.18) 中学生アンケート調査の中で、「学校生活の場面で、男女は平等になっていると思いますか」という質問について、約7割が平等と感じているが、学校生活以外の場面では平等と感じる割合が少ない。中学生だけではなく、20代、30代など年代を区切って、年代ごとの意識の変化が見えてくるようなアンケートの取り方をしてはどうか。

事務局：第4次成田市共同参画計画には、調査結果の抜粋で掲載している。アンケートの調査結果は、年代や性別等でクロス集計を行っており、結果をまとめたものを次回会議時に用意する。

また、結果については市ホームページにて公開している。

古山委員：(P. 29) 基本目標Ⅰについて、「あらゆる分野における女性の参画拡大のための機会づくり」とあるが、「女性問題」として捉えてしまいやすい。男女共同参画とは、男性に偏っている分野への女性活躍、女性に偏っている分野への男性の参画の拡大を目指すものなので、女性活躍のみを目指すものではないと感じている。

事務局：審議会の中には女性が多い審議会もあるが、全体の女性登用率としては低いため、市としてはこのような目標を掲げている。

綿貫委員：成田市男女共同参画計画を立ち上げたので、立てた計画を生かしていきたい。国の第5次男女共同参画計画で、指導的地位にある女性の割合を3割以上などとしている。実際に、女性管理職の登用に前向きに取り組んでいる企業の例を挙げるなど、そのノウハウや実践例を紹介してはどうか。政界でもクォーター制導入に向けた取り組みはあるが、まだ立場が弱いのは女性であり、女性活躍が求められている。

石井委員：民生委員でも、女性幹部を増やしたいが難しい状況である。自分と同年代の女性は「女性はでしゃばらない」という意識の人が多く、女性活躍に対する意識改革は難しいのが現状である。

内田委員：コロナ禍で、男女共同参画の実態が分かるようになった。夫婦のどちらかがコロナに感染した場合でも、うまく回っていく家庭は男女共同参画ができていると言えると思う。反対に、妻(母親)が感染者となった際に、夫(父親)が体調の優れない妻を頼ってしまうような家庭は、男女共同参画ができていないと言えるのではないかと。

(P. 34) 計画の中で、様々な目標値が設定されているが、例えば「審議会等への女性委員の登用率」が、前回策定時は32.5%だったのに対し、現状は26.5%である。この項目の令和7年度の目標値は40%となっているが、目標達成は可能なのか。

事務局：40%は国の基本目標でも設定されており、5年間の計画期間のうちに目標達成を目指す。

## (2) 男女共同参画推進事業について

古山委員：6月26日に開催されるアンガーマネジメント講座は、基本目標Ⅲの「あらゆる暴力を許さない社会づくり」のDV防止に関連していると思われるが、講座と基本目標との関連が分かるように、市民への啓発を兼ねてセミナーの案内をしてはどうか。

事務局：今回のセミナーについては、DV防止に関連がないわけではないが、年間テーマの「ワーク・ライフ・バランス」に関連し、ストレスの対処方法を学ぶ目的で設定している。基本目標を市民の方々へ浸透できるように、固くならない範囲でセミナーの案内に加えることを検討していきたい。

仲嶋委員：令和3年度の男女共同参画講座の参加者数はどれぐらいか。

事務局：令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でセミナーや講座の開催をすべて中止した。令和3年度は、規模を縮小して実施し、各セミナー30名で4回実施、講演会は50名、合計で約170名の方に参加していただいた。

内田委員：男女共同参画計画推進懇話会委員の方々にも、是非、男女共同参画講座に参加していただきたい。

## 8. 傍聴

なし